

公立大学法人奈良県立医科大学 機関リポジトリGINMUについて

奈良県立医科大学機関リポジトリ
GINMU

Global Institutional repository of Nara Medical University

奈良県立医科大学附属図書館

和田崇



本日の内容



- GINMU概要
- コンテンツの特色
- 公開までの道のり
- リポジトリの影響：ILL担当者の視点から
- 今後の課題



GINMUの概要



- 公立大学としては日本初（試験公開）
- 登録件数：約1000件
- GINMUという名称の由来

Global Institutional repository of Nara Medical University
の略（ギンムではなくジンム）檀原らしく神武天皇から



コンテンツの特色



- 現在までの所紀要中心のコンテンツ構成
- また学生対象のコンテンツ等も収載開始
(卒業記念症例報告集など)

現在は2005-2006年度の登録を完了

- 今後は学術誌にも力を入れたい

現在は殆どがCiNiiからの転載文献

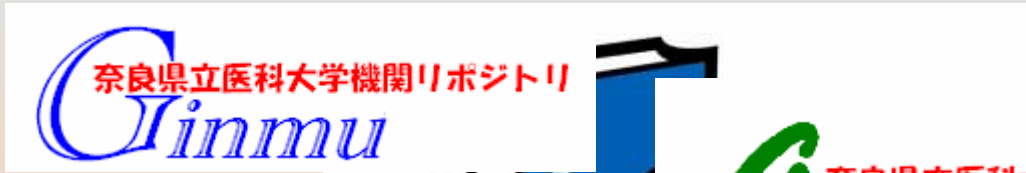


公開までの道のり



- **とにかくわけが分からない（機関リポジトリって何？）**
何かのマシーンだと思ってた
- **まずは勉強、勉強（超苦手）**
とにかく関連サイトを読み漁る（システムから著作権まで）
- **しかし機器の不備発覚（機械が動かなーい！！）**
最初は一枚ずつしか読み取りできない機械で、（動作も遅い）
しかもカラスキャンすると動かなくなってた
- **やっと新規機種導入（やれやれ）**
当社比10倍以上のスピードア－アップ
- **そして~~パタサ~~模倣から（超得意）**
コミュニティの配置からニュース欄の構築まで（ 大学様
大学様、勝手にお世話になりました）
- **ついに軌道に乗る？（やった！！1000件超えたよ）**
面白いぞ！！サイトの管理構築（殆ど業者まかせやけど・・・）



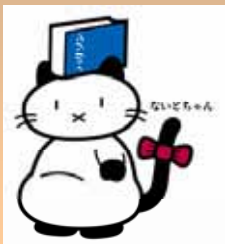


リポジトリの影響：ILL担当者の視点から(依頼)

- ・ 文献入手スピードの向上
- ・ 文献所在調査の煩雑化

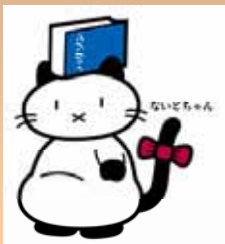
電子ジャーナルの導入後にも影響を受けたが、同じようにリポジトリの普及により調査対象が増えた。(これは利用者側にも言える事)

- ・ 利用者に対する他大学リポジトリへの誘導の困難(電話連絡時)



リポジトリの影響：ILL担当者の視点から(受付)

- 大学紀要の多くはリポジトリでの閲覧が可能となった。
- 文献所在調査の煩雑化
煩雑というほどではないが、やはり一手間増えるのは事実
- 申込機関へのリポジトリ（自館、他館）までの誘導が困難（FAXでの申込機関）



今後の課題



- コンテンツの充実
 - 特に学術雑誌論文
 - 奈良医大独自の特色あるコンテンツ
- リポジトリの学内周知
 - 先に話した利用者に対するリポジトリへの誘導の困難さへの軽減に繋がる
- 作業の効率化
 - 担当者のスキルアップ





有難うございました。

